


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章		<b>都立村山特別支援学校</b> 肢体不自由		通学区域	立川市、東大和市、武蔵村山市、昭島市、瑞穂町の全域と及び東村山市と国立市の一部						
		○お互いを尊重し、誰もが仲よくできる学校 ○綿密な計画の基、準備をしっかりと行う学校 ○整理・整頓に励み、一目瞭然な環境づくりを行う学校		進路実績	職業訓練校、通所訓練施設 入所施設 就労支援機関 都立高等学校						
基	所在地	〒 208-0011 武蔵村山市学園四丁目8番地	電話番号 042-564-2781	本 情 報	教 育 課 程 の 特 徴	①	自立活動から高校・大学進学への対応まで、障害の状態・発達段階に応じた指導				
	アクセス	(1) 拝島線・多摩モノレール「玉川上水」駅下車立川バス村山団地行(12分)村山団地下車徒歩8分 (2) 玉川上水駅下車立川バスイオンモール行(10分)東京小児療育病院南下車徒歩5分 (3) 多摩モノレール「桜街道」または「上北台」下車徒歩22分				②	PT、OT、ST、ORT、心理職の外部専門指導員からの助言を得た教育活動				
設置学部	小学部、中学部、高等部		③			企業や作業所における実習や福祉施設での生活体験を段階的に実施					
幼児・児童生徒数	総数 114名 (小学部50名、中学部31名、高等部33名)		④			地域のセンター校として、連携・交流による卒業後を見すえた障害等自己理解の支援					
学級数	38学級 (小学部 18学級、中学部 11級、高等部 9学級)		⑤			元校長の授業アドバイザーによる授業研究と専門性の向上の推進					
報	スクールバス	14台 (大型6台 中型4台 小型4台)		副籍実施状況	小学部 59名中 25名(直接は16名) 中学部 27名中 5名(直接はなし)						
	その他	医療的ケアが必要な児童・生徒のための専用通学車両 3台		学校評価	・回答率 保護者91%、児童・生徒(対象者中の割合)100%、教員100% ・授業満足度 生徒100%、保護者96%						
目指す学校		児童・生徒の自己理解、自己決定、自己実現の教育を推進し、保護者の期待に応え、 地域の中での役割を果たすため、教職員が一丸となり誠実に謙虚に、努力を継続していく学校									
今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価									
目標①	小中高のつながりのある教育課程の研究による指導力の向上 ①今年度の研究活動をとおり、各課程の使用教科書・副教材等の見直し・検証を行い、つながりのある教育課程を実現させる。 ②授業改善を、授業アドバイザーとの3回の授業研究をとおり、つながりも視点に入れて行き、指導力を向上させる。	①公開研究会開催に向けた研究活動を通し、国語・算数数学について授業改善を図りながら、つながりについての検証を始めた。教科書の総合的な見直しを計画し、夏季休業期間を利用して長い時間をかけて行き、全学部、全学習グループの教科書を再検討した。 ②授業アドバイザーとの研究授業と協議会を計画どおりに実施した。指導教諭を活用した研修63回、外部専門員との授業ミーティングの実施147回などをも通して指導力・専門性の向上を図ることができた。									
目標②	ライフ・ワークバランスの徹底 ①整理・整頓大作戦を昨年に引き続き実行し、昨年度の成果を踏まえ、維持・担保していくシステムを確立し、業務の効率化を図る。②歴史や根拠を把握した上で、これまでの本校のルールや慣習を見直し、新たなルールを作成し、業務の効率化を図る。	①整理・整頓大作戦その2を実施し、30年度の取り組みを1年で終わらせず、経年化できることを取り上げ、ルールとして実施していくことも行った。各部署で、年間の廃棄計画や更新のルーティーンを実行できるものに改善整備してきた。業務の見える化が行われ、計画的に業務が遂行でき、在校時間の見通しが立てられるようになった。 ②単純に変えることなく、仕事の質の低下が起きないような見直しを行い、業務の効率化を進めた。									
目標③	教育課題への対応を確実に ①オリンピック・パラリンピック教育のこれまでの成果を維持し、レガシーへの取り組みとして指導内容の習慣化やスタンダード化を図る。②小中高の各学部での個々の児童・生徒の実態に応じた、主権者教育、がん教育、SNS利用教育等を実施していく。③医療的ケア専用通学車両の安全で確実な運行。	①年間指導計画に位置付けて、毎年行うレガシーとしての内容を設定した。 ②実態に合った各学部での主権者教育を実施した。がん教育に関しては、次年度行うための準備を行いできるようなっている。セーフティ教室やSNS村山ルールを特別活動を通して、SNS等の利用に関する教育を進めた。 ③医療的ケア専用通学車両の業務に関して、細心の注意を払い実施できた。また、3台から5台に増車し、リスクや業務は増えたが、対応を工夫し、事故ゼロで運行している。									
数値目標	今年度の数値目標の内容			28年度	29年度	30年度	今年度		32年度	33年度	34年度
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標
	目標①	大学教授等を招いての、研究会研修会の実施 全校3回 各学部6回		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	目標②	法令等に則った、在校時間の順守		20	19	15	13	100%	100%	100%	100%
目標③	医療的ケア専用通学車両の安全で確実な運行。事故・トラブル ゼロ		100%	100%	100%	100%	90%	100%	100%	100%	

